

# 令和3年度 北九州市立企救丘小学校学校経営方針(全体構想)

## 学校教育目標

豊かな心を持ち、自己のよさが発揮でき、一人一人が生き生きと輝く子どもを育成する

### 【子どもの実態】

- 明るい、素直、元気な子ども。
  - あいさつ◎。子どもらしさをもつ。
  - 学力、体力は全国平均と同程度（令和元年度）。
  - 保護者や地域は協力的。しかし現在は感染防止対策のため、制限を設けている状態。
- ※ 児童数692名。26学級。〔通常学級22学級。特別支援学級4学級（知的1、自閉情緒3）〕

### めざす子ども像

- 命を大切に、**相手の立場に立って**考える子ども
- 自ら学び、自ら考え、**自分の考えを表現する**子ども
- 元気に遊び、**すすんで運動**に取り組む子ども

「き」 気持ちのよいあいさつ

「く」 くじけずに最後まで

「お」 思いやりのある言葉

「が」 頑張って掃除

「か」 感謝する気持ち **ありがとう**

### めざす学校像

- 子どもが主役となる**明るく楽しい**学校
- 子どもが**価値(ねうち)**を感じる学校
  - ・**規律がある学校**「学習・生活の基本」基本的生活習慣の徹底 個に対する組織的指導の充実
  - ・子どもが「できる」「分かる」と感じる学校
- ◎ 確かな**信頼**で結ばれた学校
- 保護者や地域に**開かれた**学校
  - ・**学校教育活動の外部発信**ができる学校
  - ・**安全で美しい**学校
- 研究・研修を通して進んで**学び合う**学校
  - ・**リーディングスクール(外国語教育)**としての研究
  - ・**共通の課題解決**に向けて前進する学校

子どもが「この学校で学びたい！」と思う学校に。  
保護者や地域が「この学校に行かせたい！」と思う学校に。  
教職員が「この学校で働きたい！」と思う学校に。

### めざす教職員像

- 子どもの力を伸ばすため、日々の授業を大切に**する**教師
- 子どもに明るく接し、温かい言葉をかける教師
- 子どもとよく遊び、共に汗を流し、きびきびと行動する教師
- 子どものために力を合わせ、支え合う教師
- 自分の家族や家庭を大切に**する**教師

**一時間一時間の授業の中に教育のすべてがある**

- ・本当に正しいこと、大切なこと → **「根気強く、繰り返し」**
- ・ルールは絶対に守るもの、その意味 → **「根気強く、繰り返し」**
- ・**教職員間で共通理解**し、協力して臨む。
- ・ほめて育てる。自信をつけさせる。意欲を引き出す。自分を感じ、他者を感じさせる。 → 「子どもの思い」は何か。
- ・子どもを**伸ばす叱り方**をする(よいことはよい、悪いことは悪い)。その行為を叱る。**先生の思いやメッセージとして**。過去や他の人を比較に出さない。大声を出さず、毅然とした態度で。ゆっくり。

※ **体罰は絶対に許されません。**

※ **人格を否定する言葉や乱暴な言葉は使いません。**

### 「チーム企救丘」の信頼と結束

- ◎ お互いを思いやり、明るく元気な職場で、心をつなげて、よりよい仕事をしよう。ワークライフバランスの充実。
- ◎ 一人にしない。一人で抱え込ませない。何でも話し合える職員室にしよう。

## 令和3年度重点目標

つなぐ

つながる

「あいさつ」「ありがとう」

- ① 全ての教職員の共通理解と協働体制のもと学校の教育力を高める
  - ・若手の育成、一人一人のよさの発揮。
  - ・一部教科担任制の活用 … **つながる**チームとしてのまとまり。協働的な学習指導・生徒指導の推進。
- ② いじめ防止教育の推進  
～支持的風土のある学級経営「あいさつ」「ありがとう」～
  - ・**つなぐ**人間関係づくり、学級づくり。**道徳科・特別活動**による心の教育。
  - ・**つなぐ**どの子も学級集団の中に居場所があり、自己実現できる学級経営。
  - ・**つながる**生徒指導体制「学年担任」「近接学年」「生徒指導主任・担任外」の行動連携。組織的かつ迅速な対応(**報告・連絡・相談**)と**共通理解**。結果の記録。保護者には常に先手で。怠学、不登校の未然防止。「指導する先生」「見過ごす先生」がないようにしよう。
  - ・**つなぐ**対人スキルアップ(子どもつながりプログラム)の効果的な活用。
- ③ 特別支援教育の充実
  - ・特別な支援を要する児童一人一人の教育的ニーズをとらえた**教育環境**の充実及び**支援体制**の強化。
  - ・通常の学級に在籍する特別な教育的支援の必要な児童の**困り感に寄り添う指導、支援の工夫**。
- ④ あらゆる教育活動における人権意識の高揚と人権感覚の育成
  - ・日常の授業や生活の、**子どもや教師同士の会話の中にアンテナを**。
  - ・確かな人権意識。人権感覚による温かい指導。同和問題、LGBT等。
  - ・配慮が必要な子どもの共通理解。関係機関との連携。個人情報保護。
- ⑤ 「できる」「わかる」授業づくりのための授業改善の推進
  - ・基本的な**学習規律**の確立。
  - ・ぶれない指導、継続的な指導〔教科担任制、授業のスタンダード化〕
  - ・子どもと子どもを**つなぐ**授業づくり。  
→ 基礎的・基本的な「知識・技能」の習得を活用して、「思考力・判断力・表現力」を育てる。  
→ 「書く活動」を活用した交流や評価。
  - ・「一人も見捨てない教育」の実現 … SDGsの視点から
- ⑥ 子どもの健康と安全を確保するための対応策の充実
  - ・**感染拡大防止**のための共通理解を図る … 「19さん」会議
  - ・自分の命を自分で守る判断力と適切な行動ができる力を育む。
  - ・交通安全指導の徹底、防災教育の充実。
  - ・緊急連絡メールシステム、学校HPの運用と活用。
- ⑦ 学校改善に生きる学校評価を実施する
  - ・学校関係者評価、学校自己評価、保護者アンケートの改善と充実。
  - ・学校通信等による評価結果の発信。
- ⑧ 保護者、地域、関係機関との連携 積極的な情報提供
  - ・学校HPの充実。
- ⑨ 整理され、美しい教育環境づくりの推進
  - ・子どもに潤いと安らぎのある環境の中で教育活動を。
  - ・落ちたゴミに対して気配りできる子どもに。
  - ・「黙って掃除」

- ◎危機管理体制・対応の徹底
  - ・「ほう・れん・そう(報告・連絡・相談)」
  - ・記憶より記録 ・いじめアンケート、教育相談の実施

- ◎「時を守り、場を清め、礼を正す」
- ◎教育公務員としての自覚とプライドを持ち、**綱紀粛正**に努める。**不祥事撲滅**。
- ◎心と体の声を聴き、健康管理に努める。**定時退校日**。
- ◎ワークライフバランスの推進に向けた業務改善